

# 沙流川に 生きる

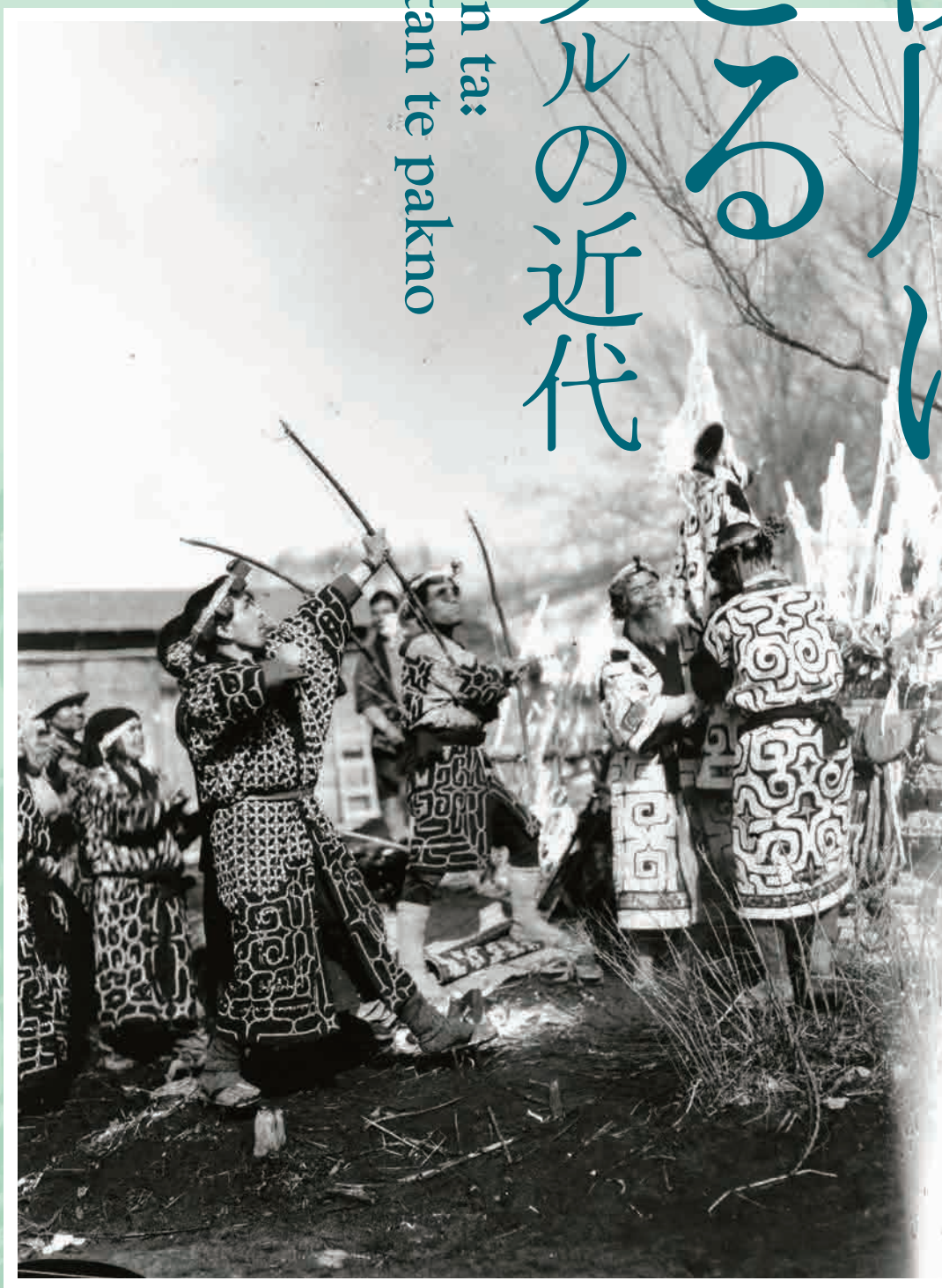
サルンクルの近代  
Nupursar kotan ta:  
sinrit orwano tan te pakno

2026 7.11 → 9.6  
Sat Sun

開館時間：午前9時30分—午後5時（入館は午後4時30分まで）  
休館日：月曜日（7/20は除く）、7/21（火）  
※会期中に一部資料の入れ替えがあります。



北海道博物館



1936年に平取町二風谷で行われた熊送り儀礼  
花矢を放ち、熊の魂の旅路を妨げる魔を払う（北海道博物館所蔵）

Living along the Saru River-  
Ainu Lives from Ancestral Times to the Present

〔観覧料〕一般1,000円(850円)／高校生・大学生350円(250円)／総合展示室セット券 一般1,600円(1,400円)、高校生・大学生600円(400円)

※（ ）内は次の料金です。・10名以上の団体・本展割引券をお持ちの方・リヒーター割引（本展の有料観覧券半券提示で、1枚につきおひとり様1回限り有効）  
※中学生以下・65歳以上の方・障がいのある方は無料。高校生に限り土曜は無料（年齢のわかるもの、障がい者手帳をご提示ください）

〔主催〕北海道博物館、公益財団法人アイヌ民族文化財団、国立民族学博物館

〔協力〕萱野茂二風谷アイヌ資料館、平取町立二風谷アイヌ文化博物館、沙流川歴史館、北海道大学北方生物園フィールド科学センター植物園、国立アイヌ民族博物館、市立函館博物館

〔後援〕公益社団法人北海道アイヌ協会、国土交通省、北海道教育委員会

※道外会場：国立民族学博物館（大阪府吹田市）2026年9月25日（金）～12月15日（火） | 文化庁・北海道補助事業 |



特別展HP

日 高山脈に源を發し太平洋に注ぐ沙流川の流域では、古くから多くのアイヌのんびとが暮らし、現在まで歴史を刻んできました。本展では、そうした沙流川流域で集められた工芸品のなかから、作り・使った人びとが明らかかなものを取り上げ、関連する写真や文書、子孫の言葉を組み合わせることで、近代以降に急激な変化を余儀なくされるなかを生きてきた人びとの姿と、現代を生きる人びとへの繋がりを照らし出します。



丸木舟に乗る平村ベンリウク氏(後方)  
『The Ainu of Japan』1895より(北海道博物館所蔵)



平村ベンリウク氏らの写真が撮影された地点の現在の景観 2026年  
河川改修により流れが大きく変わり、現在は遊歩道が整備されている。



熊送りの祭壇の前に立つ二谷国松氏と、三女朝見氏  
1936年(北海道博物館所蔵)

[本展で紹介する主な人物]

- 平村ベンリウク(1833~1903)
- 二谷国松(1888~1960)
- 萱野茂(1926~2006)
- 貝澤守幸(1935~1977)

## 沙流川に 生きたる サルンクルの近代



二谷国松氏、  
弟の一太郎氏が  
着用していた衣服  
(平取町立二風谷  
アイヌ文化博物館所蔵)



二谷朝見氏が着用していた衣服  
(北海道博物館所蔵)

Nupursar kotan ta:  
sinrit orwano tan  
te pakno



貝澤守幸氏が映画の小道具として製作した矢筒  
(北海道博物館所蔵)



三人の孫に囲まれた晩年の二谷国松氏(北海道博物館所蔵)

[講演会] (参加無料) 会場/当館講堂

①「アイヌ工芸品展」の未来

講師/大坂拓(当館職員)  
日時/7月11日(土) 13:30~15:00

②「祖父二谷国松の思い出」

聞き手/大坂拓(当館職員)  
日時/8月1日(土) 13:30~15:00

③「昭和期の北海道観光と二風谷」

講師/関根真紀氏(工芸家)  
山崎幸治氏(北海道大学)  
日時/8月16日(日) 13:30~15:00

④「樺太のサルンクル、  
沙流のカラフトウンクルー 交差する二つの歴史」

講師/北原モコットウナン氏(北海道大学)  
日時/8月23日(日) 13:30~15:00  
①~④は事前申込制・先着です。  
当館ホームページの申込フォームからお申し込みください。  
(受付期間:行事開催日の1か月前~前日)

[ミュージアムトーク] (特別展観覧券が必要です)

会場/当館特別展示室  
展示解説「沙流川に生きる」(同日二回開催)  
講師/大坂拓(当館職員)  
日時/8月11日(火・祝) ①11:00~11:30 ②14:00~14:30  
事前申し込みは不要です。  
時間になりましたら会場にお集まりください。



長野ちえこ氏が製作工程の標本として  
博物館に納めた編袋(北海道博物館所蔵)

※詳細は当館ウェブサイトでご確認ください。お電話でのお問い合わせは011-898-0500へ。



[交通案内]

バス 新札幌駅から  
バスターミナルのりば⑩(北レーン)  
ジェイ・アール北海道バス新22「開拓の村」行き  
「北海道博物館」下車  
森林公園駅から  
東口のりば 上記のバスに乗車  
徒歩 森林公園駅から20~25分  
お車 駐車場あり(105台・無料)

\* 沙流川流域にくらすアイヌ民族を、アイヌ語でサルンクル sarunkulと言います。Nupursar kotan ヌプルスアカコタンは、沙流川流域のアイヌ民族が自らの郷土を言い表した美称のひとつで、「霊力のある/神聖なる沙流川流域の集落」を意味します。

**北海道博物館**  
HOKKAIDO MUSEUM

〒004-0006 札幌市厚別区厚別町小野幌53-2  
TEL 011-898-0466 (総合案内)  
<https://www.hm.pref.hokkaido.lg.jp/>

